社協シンボルマーク

ふれあいネットワーク

曽於市社会福祉協議会情報紙

第76号

令和２年８月14日

手と手

やさしさ100パーセント

第16回 曽於市社会福祉大会福祉ポスター 小学生の部 最優秀賞

画題：「私にできること」

曽於市立岩川小学校　６年　和田（わだ）　涼那（すずな）

理念　人と人とのつながりを大切に
地域と共に歩む

発行／社会福祉法人 曽於市社会福祉協議会
曽於市財部町南俣504番地１（財部保健福祉センター内）
TEL：0986-72-0460･0480　FAX：0986-72-0425
E-mail：sohokubu-shakyo@dream.ocn.ne.jp
情報紙「手と手」は、本会のホームページでもご覧になれます。
URL：http://soo-shakyo.or.jp/

最高学年になって私ができることは何かと考えた絵です。
6年生になると1年生のお世話に毎日かかさず行きました。他にも障がい者のお手伝いなど自分ができることをかきました。これからも、この絵にかいたことよりかもっともっとボランティアなどをがんばって、たよられる人になりたいです。

この情報紙は、地域住民の皆様からの社会福祉協議会会費を財源に発行しています。

事業報告

令和元年度の曽於市社協活動

本年度も社会福祉法第109条に基づき、住民の方々、法人、関係団体等の参画を得、地域福祉の推進を図ることを使命として「自主性」と「公共性」という二つの側面を活かしながら、共生社会の実現に向けて各種事業を実施しました。

みんなが支え合うふくしのまちづくり

- 630名の在宅福祉アドバイザーによる1,492名の要援護者の見守り活動の支援（ささえあいネットワーク事業）
- 136団体のサロン活動の支援・活動助成金の交付
- ほっとサービス（住民参加型福祉サービス事業）サービス提供数134件
- 曽於市内26校区社会福祉協議会活動の支援
- 社会福祉法人、障がい者施設等との連絡会の開催
- 他の社会福祉法人との協働による買い物支援活動
- 在宅介護に悩む方々を支えるほっとカフェ開催

相談支援

社協では、多様な相談・支援機能を生かし、暮らしや地域の困りごとに総合的に対応しました。

- 心配ごと相談　20件
- 弁護士による無料相談　75件
- 低所得者等への福祉資金貸付相談　88件
  （新型コロナウイルス特例貸付相談含む）
- 生活困窮者への家計改善相談支援　75件

権利擁護支援

一人ひとりの権利と尊厳を守るために取り組みました。

- 福祉サービス利用支援事業　利用者44名
- 法人後見事業　受任1件

ボランティア・市民活動支援

地域や社会のための活動を応援し、福祉の心を育みました。

- ボランティア相談受付　90件
- ボランティア育成・活動支援
- 小学生を対象とした福祉教育出前講座　211名参加
- サマーボランティア体験活動　71名参加
- ボランティア講座（全4回）17名修了

地域の実情に応じた様々な事業を展開

- 第15回曽於市社会福祉大会の開催
- 福祉団体等の研修のための福祉バス運行事業　313名利用
- 新生児への紙おむつの贈呈事業（令和元年度で終了）158名贈呈
- 障がいをお持ちの方のお宅を清掃するお掃除サポート事業　86件
- 障がい者レクリエーション大会の開催　110名参加
- 映画会を通じた多世代交流・福祉教育　504名来場

寄り添う在宅福祉サービス

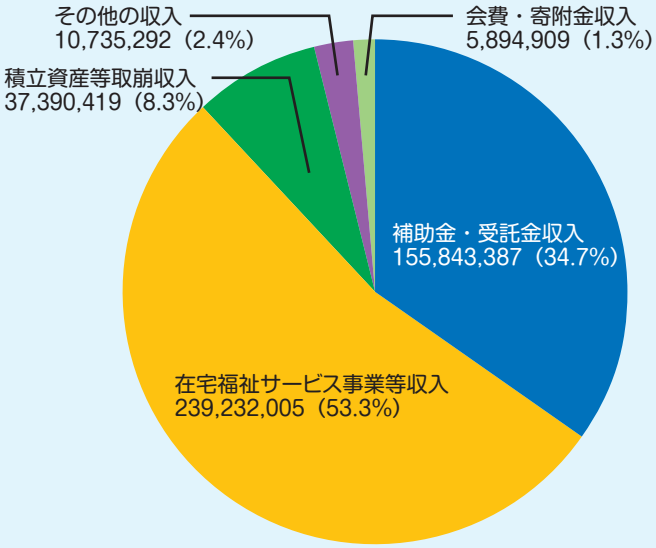
- 指定居宅介護支援事業
- 通所介護等事業
- 訪問介護等事業
- 訪問入浴介護等事業
- 小規模多機能型居宅介護事業
- 居宅介護事業
- 地域活動支援センター事業（令和元年9 月で終了）
- 一般介護予防事業
- 訪問給食サービス事業

地域包括支援センター受託

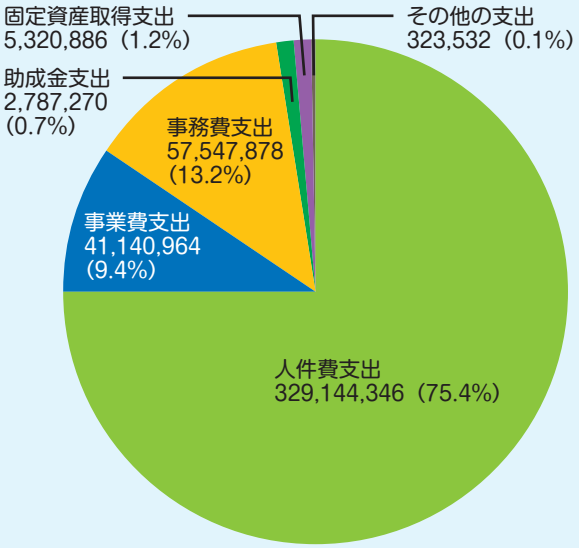
曽於市から委託を受け、行政や関係機関との連携を図りながら、地域共生社会の実現に向けた取り組みを行いました。

- 高齢者等への総合相談支援
- 地域の高齢者に対する虐待の防止、早期発見等
- 介護予防ケアマネジメント業務
- 包括的・継続的ケアマネジメント業務（介護支援専門員研修会、地域ケア個別会議、ケース会議の開催等）

令和元年度決算



【収入の部】449,096千円



【支出の部】436,234千円

皆さまにいただいた社協会費・寄付金は、曽於市の地域福祉活動を支える社会福祉協議会の貴重な財源として、地域福祉活動に使わせていただいております。
今後も皆さまのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

新役員（理事）が選任されました

前役員である児玉次雄氏の退任に伴い、令和2年3月23日に開催しました第3回評議員会にて新たに東江光次氏が役員として選任されました。

東江 光次 氏

選出区分	（5）その他、福祉関係機関の団体に属する者

SOOGoodFMに出演しました

4月2日「日だまりカフェ（脳血管疾患当事者の会）」をテーマにラジオ出演しました。「日だまりカフェ」は、ある脳血管疾患を患われ後遺症に悩まれている方の「同じ病気の人と話がしてみたい」という声をきっかけに立ち上げた会で、原田さんはその企画委員のメンバーです。活動内容や想いをお話しいただきました。

まちづくり曽於エフエム

原田 明さん（日だまりカフェ企画委員）

－日だまりカフェの企画会に参加された感想は？

はじめ、脳血管疾患の当事者の会と聞いた時は、イメージが湧きませんでしたが、企画会には、当事者の方やリハビリ等の専門職の方もいて、みんなでどんな会にしたいかを具体的に考えていくうちに、楽しみになってきました。

－日だまりカフェの活動や今後について教えてください

私と同じように脳内出血を起こされた方でも、その方にしか分からない症状や苦労があると思います。気軽に立ち寄って、コーヒーでも飲みながらお互いの日頃の想いを話したり、専門職から助言をもらったりして、「また、がんばろう」と前向きになれるそんな場になればと考えています。障がいや病気にとらわれず輪を広げていきたいです。

－ラジオに出られた反響は？

リハビリ仲間や地域の方、知人等多くの方から、「ラジオ聞いたよ」と声をかけていただきました。病気になってからもいろんな方に励ましていただき、そういった一言ひとことが嬉しく思います。

6月4日「ふれあい・いきいきサロンと転倒予防教室」をテーマにラジオ出演しました。活動者のお2人に日頃の活動に対する想いをお話しいただきました。

飯野さん(左)と宮田さん(右)

飯野　鉄郎さん（転倒予防教室支援者）

― 転倒予防教室をはじめたきっかけは？

田舎であっても年数回しか顔をあわせなくなっている。

外出や近所を訪ねたくても足腰も弱り、出かけることへの不安があるんだろうなと高齢者の方々と接する中で感じていました。

どうにかできないかと考え、集いの場を作るきっかけとして体操教室を始めました。

－はじめたことでどのような変化がありましたか？

地域の方と顔を合わす機会が増え、いつも笑いが絶えない場となり、参加者に楽しいと言ってもらえて良かったなと思います。

－地域活動の良さとは？

毎週集まることで互いの近況も話してくれるので、地域の状況も把握でき、とても助かっています。

マンネリ化しないように内容を工夫することに悩むこともありますが、体操教室を楽しみにしてくれている方々がいる限り活動を続けていきたいです。

宮田 喜久男さん（サロン：和合一致会代表者）

－サロンをはじめたきっかけは？

元々、毎月集まりのあった自治会ではありましたが、他の自治会ではサロンでお茶のみをしていると聞き、せっかく集まっているのだからサロンが始められないだろうかと考えたのがきっかけでした。

－サロン名を「和合一致会」としたのは？

元々畜産農家が多い自治会だったこともあり、自分の親世代が「みんなで一緒にやっていこう」という想いで「和合一致（わごういっち）」という言葉を掲げていました。その想いをサロンが引継ぎ、今後も繋げていけたらと思っています。

－サロン＝お茶飲み会+大人の遊び?

高齢者の方々にとっては「遊び」に抵抗のある方もいるかとは思いますが、私は大人も遊ぶことは大切だと感じています。お茶飲み会＋大人の遊びとして、サロンで遊ぶ時間を持ってもらいたいですね。せっかくできたサロンなので長く続けたいです。1年1年を楽しく過ごしてもらえるような活動にしたいです。また、飯野さんの話を聞いて転倒予防教室も始めることにしました。

SOOGoodFMで社協の情報を発信させていただいています。

- 番組名：しるしるそお市
- 社協出演枠：偶数月第1木曜日　11時00分～12時00分
- 次回予告：共同募金について

新たに買物支援活動が始まりました

社会福祉法人の地域貢献事業

買い物支援活動は、移動手段がない等の理由で日常の買い物に困っている方々や高齢になって運転することに不安をもつ方々のために、社会福祉法人が車両と人材を提供し、お店までの送迎を支援するものです。

6月18日に「社会福祉法人笠木福祉会スイミーこども園」が大隅町坂元に住む地域の皆さんを末吉町のAコープまで買い物に連れて行きました。参加した地域の方は「毎週利用できれば買い物が助かる」「車内でも会話が弾み楽しかった」と話されていました。

今後も必要な方に利用していただけるよう周知活動と啓発を行っていきます。

参加者の皆さんと校区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、スイミーこども園、曽於警察署、曽於市社会福祉協議会

現在、笠木福祉会を含む、6つの社会福祉法人が地域貢献のために買い物支援活動に取り組んでいます。

- 白鳥会
- めぐみ会
- 大多福会
- 太陽の子福祉会
- 笠木福祉会
- 曽於市社会福祉協議会

ちいきのうごき

曽於市内の子ども食堂・地域食堂、子ども食堂を検討中の方、フードバンク、主任児童委員、保育園、曽於市役所などの関係者の皆さんに出席していただきました。

子ども食堂連絡会を開催

子ども食堂=地域の交流拠点、子どもの貧困対策

子ども食堂は、子どもたちに対し、無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する取り組みを行う食堂です。また、子どもたちに限らず、地域住民を含めて対象とし、交流拠点を設けようとするものなど、活動は多岐に渡ります。

6月28日、関係者で今後の連携や課題、悩み等について情報交換を行いました。

参加者からは、「食事をとるだけでなく、子ども食堂を通じて、人と人とのつながりをつくることが必要」「楽器の演奏などもボランティアにしていただき、来られた方により楽しんでもらおうと思っている。」など活動に対する想いを話していただきました。

参加者の想いを聞き、子ども食堂には、食を通して人と人がつながり、たくさんの気づき、喜び、充実感が味わえる、そうした魅力があると思いました。

サロンで地域いきいき

ふれあい・いきいきサロン 西村いきいきクラブ（財部地区）

西村いきいきクラブは、西村公民館や代表者の自宅などに集まり、顔を合わせてお話したり食事をしたり、楽しい時間を過ごしています。
男女19名で高齢者も多いですが出席も良く、サロンでの会話や交流、食事は元気の源になって、地域でみんなと楽しく過ごすためのとても良い場所になっています。
年に一度はみんなで温泉に出かけたりもしています。
長く続いているサロンなので今は80歳以上になったメンバーが多いですが、60歳代、70歳代の方にも気軽に参加してもらって一緒に楽しんでいけたらと思っています。

代表　松元 静俊

西村いきいきクラブの皆さん

みんなで楽しくお食事をしている様子

夏休み ふくしワークショップ

ペンやスタンプをつかって マイバッグをつくろう！

赤い羽根共同募金の助成を受けて、ふくしワークショップを実施しています！
みなさんの赤い羽根共同募金がどのように使われているか知っていますか？
福祉や赤い羽根共同募金のことについて学びながら、ペンやスタンプを使って自分だけのマイバックも作ってみましょう♪
夏休みの自由研究や工作に、ご家族の思い出づくりにぜひご参加ください。

【開催期間】　8 月1 日～ 8 月28 日
※各開催地域で開催時間・定員が異なります。
【参加費】　300 円～ 500 円
バッグに種類があります。当日お好きなものを選んでください。
（参加費は赤い羽根共同募金へ寄付します。）
【開催場所】　財部保健福祉センター
そお生きいき健康センター
弥五郎伝説の里 まつり館
【問合せ・申込先】
本所(財部) ☎ 0986-72-0460
末吉支所　☎ 0986-76-2224
大隅支所　☎ 099-482-3013
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員制の事前申込とし、参加者の連絡先を把握させていただきます。感染症対策を行いながらの実施となりますので、参加者の皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

権利擁護センターから
安心して暮らし続けるために

このようなことで困ったことはありませんか？

家賃や電気代が払えていない

福祉サービスを利用したいけどどうしたらいいのかな？

役所から書類がきたけどよくわからない

お金の使い方が難しい

大切な通帳・年金証書はどこにしまったらいいの

そんなときは
福祉サービス利用支援事業をご利用ください！

社会福祉協議会権利擁護センターがお手伝いします。

福祉サービス利用支援事業（日常生活自立支援事業）

高齢者や障がい者で判断能力に不安があり、福祉サービスの利用の手続き、日常生活の金銭の支払い等にお困りの方を対象としたサービスです。

主な支援内容
① 福祉サービスの利用の手続き
② 日常生活のお金の出し入れ
③ 印鑑や証書などを安全な場所で保管

住み慣れた地域で安心した生活が送れるように支援します。利用をご検討される方は担当者が相談に伺います。
※秘密は厳守します。

権利擁護センター職員の紹介

権利擁護センター長　　福祉サービス利用支援事業専門員 兼 後見業務従事者

和田 幸次郎（事務局長）　新川 好敏（地域福祉課長）　元山 貴恵　山口 和美

問合せ・相談窓口　曽於市社会福祉協議会（財部保健福祉センター内）　権利擁護センター　☎ 0986-72-0460

お掃除サポート事業のご案内
～在宅での生活を支えます～

曽於市内にお住まいで障がい者手帳をお持ちの方を対象に、年末年始のご自宅の掃除をお手伝いします。

高い所や細かな部分まで手が回らず、お困りのことはないでしょうか？ぜひ「お掃除サポート事業」の利用をご検討ください。

申込み及び問合せ先

曽於市社会福祉協議会
地域福祉課　地域係
☎0986-72-0460・72-0480

皆様からご協力いただいた赤い羽根共同募金のうち歳末たすけあい募金を財源に曽於市社会福祉協議会が助成を受けて行っています。

よくあるお問い合わせ内容

―どのような人を対象にしていますか?

障がい児・者（手帳保持者）がお住いのご自宅が対象です。85件程度を予定しています。

―掃除してもらえる時期は、いつごろになりますか?

9月1日から令和3年1月31日までの期間で、委託業者からの連絡で個別に調整して決めます。

―誰がどこを掃除してくれますか?

専門業者の清掃員2名で半日かけて掃除します。清掃時間は8時～12時（午前）又は13時～17時（午後）のどちらかです。

―どこを掃除してくれますか?

掃除箇所は、①シンク周り、②換気扇、③トイレ、④洗面所、⑤お風呂、⑥窓ガラス、⑦ガラスサッシと⑧ごみの分別（処分は含みません）です。

―自己負担が必要ですか?

1,000円です。掃除の日に専門業者の方にお支払いください。

―申込みは、いつまでにすればよいですか?

8月17日（月）から85件に達するまで、随時受け付けます。手帳に記載された内容をお尋ねしますので、手元に準備してお電話ください。

貸出用地域福祉活動用具の紹介

地域の方の健康・生きがいづくりの一環として、子どもから高齢者まで誰もが気軽に楽しむことができる福祉用具を無料で貸出しています。

今年度はボッチャ、アキュラシーと新しい用具も増えました。その他にも多くの用具を準備しています。地域でのレクリエーション活動等でご活用ください。

本会が所有する福祉用具一覧

輪入れ	ペタンク
スカットボール	ボッチャ
キャッチザスティック	アキュラシー
オーバルボール	パブリング
ミニボウリングセット	ソフトギムニクボール

アキュラシー

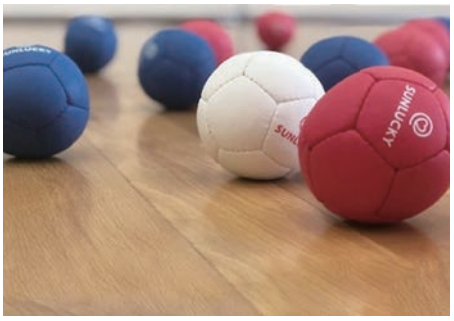
フリスビーを投げて的を通すシンプルな競技で、誰もがすぐに楽しめます。柔らかく室内で使いやすいフリスビーを用意しています。

スカットボール

点数の的へボールを入れる直感的にわかりやすいゲームです。

ボッチャ

パラリンピックの公式種目にもなっているカーリングにも似た競技です。体への負担も少なく誰でも真剣なスポーツの醍醐味が味わえます。



職場体験は新たな発見の宝庫です！

働き方はいろいろ♪

介護施設で活かせる元気シニアの力!! まずは、職場体験してみませんか

1日3時間程度♪
週3日くらいなら
働いてもいいと思う方
に是非オススメ!!

体験内容は
メニューの中から
あなたができる仕事
を選べます。

健康のためにも
余暇の時間
活かして
みませんか？

体験初日は
施設の研修も
あるので
未経験者でも安心♪

55歳以上の方対象♪

参加費無料♪

チャレンジ・ザ・ワーク
元気高齢者等介護職場インターンシップ（職場体験）募集

シニア層が介護施設で生活介護の一部（掃除や配膳、調理補助等）をサポートする人材として活躍できるように、職場体験を通じて就業支援を行い、シニア層の就業機会の創出と介護従事者の確保を図ります。

対 象 者：55歳以上の心身ともに元気な方
参 加 費：無料（賃金や交通費は支給されません）
体験施設：特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、グループホーム
体験日時：概ね２週間の間に施設と決めた５日間。１日３時間
初日は研修（体験に必要な基本的知識や実技等、日程等の打合せ）、
２日目～５日目が職場体験
体験内容：介護施設での生活介護の一部や作業のサポートが主体の次のような体験
①交流補助（話相手・レクリエーション・趣味の相手）
②介助の補助（入浴前後・食事・散歩等）
③作業の補助（配膳、調理補助、部屋・庭及び車イス等の清掃、洗濯物整理等）
そ の 他：体験中はボランティア行事保険に加入（参加者負担はありません）
体験終了後は、就職希望者の面接をサポート

問合せ先

曽於市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL 0986-72-0460

鹿児島県社会福祉協議会〔鹿児島県委託事業〕

手話奉仕員養成講習会開催のお知らせ

主催：曽於市、曽於市社会福祉協議会

令和2年4月1日より手話言語条例が曽於市で制定されました。
この条例は、手話が言語であるとの認識に基づき、手話に対する理解の促進及び手話の習得により、聴覚障がい者が生活しやすい社会の実現に寄与することを目的に制定されました。
このことに伴い、手話奉仕員養成講習会（入門課程）を開講いたします。手話言語を勉強したい方、聴覚に障がいをお持ちの方への支援活動をしたい方、興味のある方はご参加ください。

開講日程：令和2年10月28日(水)～令和3年3月10日(水)の間
開講時間：19時～ 21時(2時間程度)
開講場所：財部保健福祉センター (財部町南俣504-1)
募集人数：20名程度（18歳以上）
受 講 料：無料 ※ただし、テキスト代が3,300円かかります。

申込方法：
① お電話での申し込み　0986-72-0460
② 申込書によるFAXでの申し込み　0986-72-0425
※申込書は、本会ホームページでダウンロードしていただくか、曽於市社会福祉協議会本所または支所でお渡しできます。
③ メールでの申し込み　kenriyogo@soo-shakyo.or.jp
申込締切：令和2年9月30日(水)まで

開講回数：18回
開催予定日：

令和2年
10月28日※開講式
11月4日、11日、18日、25日
12月2日、9日、16日、23日

令和3年
1月13日、20日、27日
2月3日、10日、17日、24日
3月3日、10日※終了式

※天候や災害等により日程を変更する場合があります。

左記のQRコードからメールを送信することができます。

第16回曽於市社会福祉大会延期のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大・影響長期化が見込まれるため、8月30日(日)に予定していました「第16回曽於市社会福祉大会」の開催は**11月29日（日）**に**延期**します。
また、今年度の大会の内容については、例年行っている講演やバザー・ブースの設置等は行わず、式典（表彰、来賓祝辞、福祉作文発表）のみを実施する方向で調整をしています。
　地域の皆さまにはご迷惑をお掛けしますがご理解いただき、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いします。ご不明な点等ございましたらお問合せください。

※新型コロナウイルス感染状況により、日程等が変更になる場合があります。

問い合わせ先
曽於市社会福祉協議会　総務課
☎0986-72-0460

心配ごと相談所開設のお知らせ

日常生活のことで、お困りのことがありませんか？
心配ごと相談員や社会福祉協議会職員が対応いたします。お気軽にお越しください。

毎月第2・第4木曜日　9：30～12：00

		8月27日	9月10日	9月24日	10月8日	10月22日	11月12日
財　部	相談員	柳田	鎌原	橋本	棚木原	柳田	鎌原
	場　所	財部保健福祉センター					
末　吉	相談員	羽嶋	山内	竹石	原田	吉田	羽嶋
	場　所	そお生きいき健康センター					
大　隅	相談員	大村	津曲	佐伯	大村	鍋山	津曲
	場　所	大隅弥五郎伝説の里					

ひとりで悩まないで

弁護士による無料福祉相談窓口

ひまわりの会による無料法律相談

○相談日時及び会場：

会　　場	財部保健福祉センター	そお生きいき健康センター	大隅弥五郎伝説の里
相談日時	10月15日	8月20日	9月17日
	13 時から 16 時まで	13 時から 16 時まで	13 時から 16 時まで

○相談料：**無料**です。（相談者からはいただいておりません）　※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**

ひまわりの会　事務局　代表弁護士　山口　政幸　☎**099-227-0041**（受付：平日9時～17時）
鹿児島市山下町12番17号2階　**※当分の間、電話での相談となります。**

藤尾法律事務所による無料法律相談

○相談日時及び会場：

会　　場	財部保健福祉センター	大隅弥五郎伝説の里
相談日時	9月8日、10月13日、11月10日	8月18日、9月15日、10月20日、11月17日
	13 時から 15 時まで	18 時から 20 時まで

○相談料：**無料**です。（相談者からはいただいておりません）　※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：**先着順、事前電話予約可**

弁護士法人 大隅広域ディフェンダー　藤尾法律事務所 末吉支所　☎**0986-51-9830**
曽於市末吉町本町1-4-5　**※当分の間、Web 会議システムZOOM を使っての相談となります。**

たくさんの善意に感謝いたします。

曽於市社会福祉協議会では、この善意を市民の皆様の福祉向上のために大切に使わせていただきます。
なお、本紙への掲載につきましては、ご本人の承諾を得てご希望どおりに掲載しております。

香典返し寄付金（敬称略）（令和 2 年 5 月 1 日～7 月 31 日）

財部地区

岩満茂木　天子馬場
池下敏廣　下谷川内
満重ヨネ子　町
楕野緑　南
前山惠子　天子馬場
福岡ツユ子　刈原田
中村トシ子　上大峯
戸越益子　今別府
入来茂貴　霧島市
豊田幸一　七村
鬼丸カツ子　坂元
小笹とも子　宇都
豊田のぼる　七村

末吉地区

今西栄　仮屋
山田スミ子　上麓
山下京子　池山上
末永勝子　三枝後
門松松夫　胡摩
平川豊作　上内門
柿内時則　上柿木
南脇敬一郎　西高松
上中別府陽一　都城市
田崎ミチ子　川内前
向田哲郎　南大沢津
東トミ子　掛上
古川眞一　高松
前原一郎　橋野堺
神宮司純一　川内東
中島一美
永吉忠　和田
東別府美佐子　森田

大隅地区

大村道夫　柳井谷
久木田サキ子　中園
津留イツ子　下岡別府
森山エイ子　坂元
吉永秋男　桂
永吉政明　あけぼの
今村江美　茨ケ迫
（故中迫チラ）
藤田直美　東鍋
山元正弘　中園
匿名 1 件

一般寄付金品（敬称略）（令和 2 年 5 月 1 日～7 月31日）

財部地区

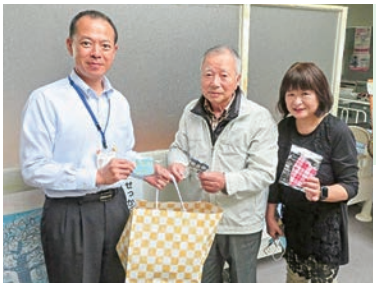
前田　重治　都城市　8,000円
匿名 1 件

末吉地区

畩ケ山　治雄　畩ケ山　5,000円
有馬　一馬　新田山　50,000円

大隅地区

匿　名　籾　2 俵（30kg）



日本善行会鹿児島県財部支部とまるこ子ども食堂
5月8日、社協へ手作りマスク寄贈 100枚

ご寄付いただいたマスクは、子育て支援センターや幼児園などへ配布させていただきました。本当にありがとうございました。

◀日本善行会 鹿児島県財部支部 会長 池上　勝義 氏（中央）
まるこ子ども食堂　代表 徳丸　真子 氏（右）
曽於市社会福祉協議会 事務局長　和田　幸次郎（左）

㈱碧てらすアズールマテリア．SO
6月25日、社協へサージカルマスク寄贈1000枚

ご寄付いただいたマスクは、感染症予防のために地域の方々へ配布する予定です。本当にありがとうございました。

碧てらす アズールマテリア．SO 松ケ野 陽志 氏(左)
曽於市社会福祉協議会 大隅支所長 牧野 美鈴(右) ▶

職員より

世界中で新型コロナウイルスが蔓延し猛威を振るっている中、日本各地で大雨による災害も重なり、多くの方が日常の生活を送れない状況となっています。

先日、テレビを見ていると、被災地でボランティア活動に参加されている方の話が放送されていました。「以前、熊本地震の時に多くの人達に助けてもらったから・・次はこちらの番。恩返しがしたい。」とても胸打たれる言葉でした。多くの思いやりの気持ちが多くの人達を支えていることを改めて感じさせられました。このような大変な時だからこそ、私たちが今できることは？もう一度足元を見直し、これまでを振り返ることはとても大切なのではないかと思います。まだまだ暑い日が続きます。ボランティア活動ではもちろん、日常生活でも熱中症等には十分に注意し、皆で夏を乗り切りましょう。　S・S